

新世紀プラン きらめく北の人間都市あきた

平成十三年度の秋田市政が始まりました。

今年度の予算は一般会計が一千四十六億円、特別会計が八百四十五億円、企業会計が二百五十一億円で、総額では二千四百二十二億円となります。

新世紀プランの骨組みに合わせ、十三ページまで今年度の主な事業をお知らせします。秋田市の財政事情とまちづくりの動きをご覧ください。

今年度事業の特徴については、十三ページの市長のコーナーでも解説しています。



5つの将来都市像と 7つの重点テーマ

第九次秋田市総合計画となる「秋田市新世紀プラン」は、平成十三年度から二十二年度までの十年間のまちづくりの展望を描くものです。

下記のとおり、五つの将来都市像のもと、少子長寿社会やIT（情報通信技術）革命への対応、環境問題、将来を担う人づくりなど、時代が求める七つの重点テーマを設けたのが大きな特徴です。市民のみならず、積極的な参加をいただきながら、活気ある豊かなまちづくりを推進していきます。

秋田市新世紀プラン

将来都市像

5	4	3	2	1	
自ら考え主体となつて参加する開かれたまち	可能性を伸ばし生きがいを持てる充実のまち	安心して健康にすごす助け合いのまち	豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち	環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち	少子長寿社会への対応
					環境と調和したまちづくりの推進
					市民共生社会の実現
					地方分権推進による市民主体の都市個性づくり
					中心市街地再生による秋田の顔づくり
					秋田の将来を担う人づくり
					IT革命に伴う社会変化への対応

重点テーマ